

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名    | 新潟市立児童発達支援センター |   |     |         | 公表日  | 2026年3月10日 |
|---------|----------------|---|-----|---------|--|------------|
|         | チェック項目         | はい  | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点  |            |
| 環境・体制整備 | 1              | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 29  | 0       | ・使用しない時はテーブルやいすを廊下に出して広いスペースを作って工夫しています。<br>・活動内容やお子さんの様子に合わせて、クラスで二部屋使用したり、プレイルームを使用しています。                        |            |
|         | 2              | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 29  | 0       |  |            |
|         | 3              | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 29  | 0       | ・玄関に新たにスロープが設置され、バリアフリー化され、歩行が不安定なお子さんでも移動がしやすくなりました。<br>・クラスの様子や個々に合わせた構造化を行い、こども達が生活しやすいようにしています。                |            |
|         | 4              | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 29  | 0       | ・毎日の清掃やこまめな消毒により、清潔を保つようにしています。<br>・日頃の点検に加え、毎月環境整備点検を行い、修繕が必要な箇所は早急に修繕し、こども達が安全に活動できるようにしています。                    |            |
|         | 5              | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 29  | 0       |  |            |
| 業務改善    | 6              | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                       | 29  | 0       | ・職員は年に2回目標設定と振り返り、自己評価を行い、その内容からより良い療育につながるよう改善しています。<br>・お子さんの療育記録を作成し、クラスで目標に対しての振り返りを行っています。                    |            |
|         | 7              | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | 29  | 0       | ・評価表は職員全員が目を通し、いただいたご意見に対してよいところはよりよくなるように、改善が必要などころは改善につながるよう取り組んでいます。  |            |
|         | 8              | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 29  | 0       | ・行事や研修会後は職員の感想、評価及び反省を集約し、その内容を療育に生かしています。   |            |
|         | 9              | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 29  | 0       | ・年に1回保護者評価と自己評価を行い、その結果について、第三者にご意見をいただいています。評価の結果といただいたご意見を業務改善につなげています。  |            |
|         | 10             | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                     | 29  | 0       | ・園内では外部講師や当センターの言語聴覚士による研修を行ったり、当センターアドバイザー職員による療育実践研修など行っており、職員が学ぶ機会を作っています。<br>・外部研修は、全職員に周知し、参加の機会を設けるようにしています。 |            |
|         | 11             | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。   | 29  | 0       |  |            |
|         | 12             | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。                      | 29  | 0       | ・保護者にお会いできる機会にお話をお聞きしながら、保護者のニーズを知ることができるようにしています。<br>・クラスカンファレンスを行い、各クラス担任全員でアセスメントすることによりお子さんの気持ちに寄り添うようにしています。  |            |
|         | 13             | 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。        | 29  | 0       | ・クラス担任で話し合い、アセスメントシートを作成し、それをもとに児童発達支援管理責任者も加わり、カンファレンスを行っています。  |            |

|          |   |  |    |  |   |   |
|----------|---|--|----|--|---|---|
| 適切な支援の提供 | 14  | 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 29 | 0  | ・個別支援計画の内容は、クラス内で共有しており、クラス職員全員が同じに支援できるようにしています。   |   |
|          | 15  | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 29 | 0  | ・全園児を対象とした遠城寺式乳幼児分析的発達検査や当センター独自に作成した日常動作アセスメント票を基にアセスメントを行っています。   |   |
|          | 16  | 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 29 | 0  | ・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、必要な項目や具体的な支援内容を記載しています。   |   |
|          | 17  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 29 | 0  | ・計画に従い、クラスや学年で話し合いながら、お子さんの様子に合わせた計画を作成し、計画に沿って集団での療育と個別の療育を行っています。   |   |
|          | 18  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 29 | 0  | ・外部講師や当センターアドバイザーからの意見も取り入れながら様々な経験ができるよう、活動プログラムの設定を行っています。<br>・担任間で話し合ったり、他のクラスの工夫を取り入れたりして固定化しないようにしています。                                  |   |
|          | 19  | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。  | 29 | 0  |   |   |
|          | 20  | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 29 | 0  | ・その日の出席児や活動内容に応じてクラスで打ち合わせを行っています。  | より良い療育を行うためには、クラス職員全員でカンファレンスを行うことが望ましいですが、延長の受け入れやバス乗車等の業務でクラス職員全員が集まってカンファレンスができないことが多いため、クラスノートの活用や業務の工夫により、少しでも時間を作っています。もっと安定的にカンファレンスの時間を確保することが課題です。 |
|          | 21  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 29 | 0  | ・短い時間でも、その日気になったことや連絡事項を共有しています。また、職員によって対応が異なるように同じ方向を向き、気づいたことなど声を上げて話し合っています。<br>・日々のカンファレンスを通して、お子さんとの関わり方や視覚支援など工夫をし、よりよい療育ができるようにしています。 |   |
|          | 22  | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 29 | 0  | ・療育記録を毎月評価をし、次月の支援に生かしています。<br>・個別支援計画に沿った振り返りを行い、その内容を記録し支援の振り返りや見直しを行っています。計画以外の内容についても話し合う機会をつくり、職員間で共通認識できるようにしています。                      |   |
| 23       | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 29   | 0  | ・日々のカンファレンスでこどもの姿などを共有し、個別支援計画の支援目標について話し合い状況を共有しています。 |   |   |
| 関係機関や    | 24  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 29 | 0  | ・担任と児童発達管理責任者が出席し、状況確認と支援の方向性について検討を行っています。   |   |
|          | 25  | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 29 | 0  | ・必要に応じて各関係機関と連携を図り、支援を行っています。   |   |
|          | 26  | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                             | 29 | 0  | ・当所独自のマニュアルをもとに、保護者、関係機関と共通理解した上で併行通園をすすめられるようにしています。   |   |
|          | 27  | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 29 | 0  | ・就学先と情報共有し、できるだけスムーズに移行できるようにしています。<br>・特別支援学校との交換実習を行い、支援内容の共有や相互理解を図っています。  |   |
|          | 28  | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。  | 29 | 0  | ・新潟市内の児童発達支援事業所を対象とした情報交換会を開催し、職員研修や支援プログラム等について情報共有を行っています。<br>・当センターの支援取組み発表や事業所向けの研修を実施し、新潟市の児童発達支援の質の向上に取り組んでいます。                         |   |

|          |    |  |    |   |  |   |
|----------|----|--|----|---|--|---|
| 保護者との連携  | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                             | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修では、外部講師を招き専門的な指導・助言を頂きました。</li> <li>・外部研修においては、研修案内を朝礼時に周知し、積極的な研修受講を促しています。</li> </ul>  |   |
|          | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                      | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市障がい者自立支援協議会全体会、児童体制ワーキング、中央区自立支援協議会等に参加しています。</li> </ul>  |   |
|          | 31 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                    | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年中、年長児が定期的に地域の保育園と交流する機会をつくり、様々なお子さんとかかわる経験をしています。</li> </ul>  |   |
|          | 32 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                               | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画に沿って支援し、できるようになったことや成長したことを保護者にお知らせして、喜びを共有し合ったり課題を確認し合ったりしています。</li> <li>・体調の変化など細かいことでも連絡帳や送迎時、電話等で保護者に伝えるようにしています。</li> </ul> |   |
|          | 33 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。   | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導の機会に普段の療育の詳しい内容と家庭でできる支援方法や情報を伝えました。</li> <li>・家族支援の一環として保護者講座を行っています。</li> </ul>  |   |
| 保護者への説明等 | 34 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会や、新年度保護者講座等で説明する機会を設けています。</li> </ul>   |   |
|          | 35 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より個人調査票を提出して頂き、また、面談時に聞き取りを行い意向等を確認しています。</li> </ul>  |   |
|          | 36 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                             | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人懇談時に「個別支援計画」を説明し保護者より同意を得ています。</li> </ul>  |   |
|          | 37 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                             | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導の後に個別指導の内容の他に家庭での困り感や成長したことについて共通理解ができるように話をしています。</li> <li>・年3回の個人懇談と、希望する方には家庭訪問を行っています。</li> </ul>                            |   |
|          | 38 | 行事や保護者講座の開催等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。    | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス懇談会や保護者講座等では、保護者同士が自由に話合える時間を確保しています。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度初の試みとして、「家族みんなで育ちあう～こころに通うおさんと家族が一緒に成長するために～」をテーマに「家族みんなの座談会」を行い、「きょうだいとの関わり方」、「家族の在り方」などを語り合いましたが、きょうだい同士の交流についてはきょうだいの年齢が未就学児～高校生と幅広いため難しさを感じています。今後もより良い方法を検討していきます。</li> </ul> |
|          | 39 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。   | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時や個別指導時、電話やICTサービス「コドモン」の連絡帳機能を使い相談に応じています。</li> <li>・保護者からの申し入れがあった場合、迅速に対応し、職員間で周知できるよう伝達しています。</li> </ul>                      |   |
|          | 40 | 定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。           | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年だよりを月1回、配布しています。</li> <li>・月2回こども達の様子をコドモンで配信しています。</li> </ul>   |   |
|          | 41 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報の保護に努めています。</li> </ul>   |   |
|          | 42 | 障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。   | 29 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもとの意思疎通に関しては、ジェスチャー、絵カード、写真カード等を活用しています。</li> </ul>  |   |
|          | 43 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 22 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のことを知ってもらうため、地域に広報誌を配布しています。</li> <li>・児童発達支援を利用していないおさんの相談や遊びの場として、キッズこころんを月2回行っています。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は事業所の夏祭り等に地域の方を招待したり、お神輿を担いで近所を練り歩いたりしていましたが、コロナ禍や猛暑の影響でなくなりました。こどもにとって負担にならず、成長につながる経験になるかという視点で再開について検討をしています。</li> </ul>   |

|         |  |   |    |  |   |
|---------|--|---|----|--|---|
| 非常時等の対応 | 44   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 29 | 0  | ・トラブルを想定した訓練を実施し、適宜マニュアルの見直しを行っています。  |
|         | 45   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                       | 29 | 0  | ・非常災害を想定した訓練を行い、訓練での反省は早急に改善策を話し合い、非常災害に備えています。   |
|         | 46   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。   | 29 | 0  | ・こどもの服薬や持病について、全体会議や朝礼での伝達、事務日誌への入力などで職員間で周知し、全員が把握できるようにしています。<br>・発作時などの対応マニュアルを作成し、職員全体で把握しています。 |
|         | 47   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。  | 29 | 0  |   |
|         | 48   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 29 | 0  | 毎月、安全計画に従い各種訓練を実施し、日時や内容等は毎月のおたよりでお伝えしています。   |
|         | 49   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                       | 29 | 0  |   |
|         | 50   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 29 | 0  | ・ヒヤリハットが起きた時にはクラスで改善策を話し合い、事業所全体で共有しています。<br>・小さなことでもヒヤリハットをあげ、対策防止策の検討と情報共有しています。                  |
|         | 51   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 29 | 0  | 虐待防止計画を作成し、園内研修で虐待の内容を確認したり、職員全員がセルフチェックを行うことで、行動を振り返り、支援に活かしています。また、外部研修にも参加をし、虐待防止に努めています。        |
| 52      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 29  | 0  | ・やむを得ず身体拘束を行うことについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しています。<br>・定期的に身体拘束適正化の取り組みの確認・改善を検討しています。職員一人一人が身体拘束をしない支援の実施に努めています。 |   |